

## 「私たちが考える、公共施設の将来像」

## をテーマにグループ討論を行いました

2月24日（土）浅川公民館大会議室で、第2回の「公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。


既存施設の再配置を考えるグループ討論の後、まとめとなる意見発表を行いました。アドバイザーの信州大学寺内先生の総括、住民自治協議会の小林会長のあいさつ、樋口副市長から御礼のあいさつの後、参加者全員で記念撮影を行い、ワークショップは幕を閉じました。関係の皆さま、ありがとうございました。



信大生にも参加してもらい、地区の将来像を話し合い、公共施設について意見をまとめて発表していただきました。（詳細は次ページをご覧ください）

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等も参考に、地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

**市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。**



今回のワークショップは、浅川地区住民自治協議会のご協力をいただき、地区の役員さんに、飛び入り参加の方も加えたメンバーで、熱い討論を重ねていただきました。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

浅川支所 電話：241-3552

# 各グループの意見(概要)をご紹介します

以下に、建物を移す案を  で、機能を移す案を  で、表しています

## Aグループ

### コンセプト【山間部と平地の交流

### 多世代交流のための充実した有効活用】

北郷体育館

休日に世代間交流する拠点として、高原学校・農業体験・田んぼオーナー制度等に活用。アトリエでも使える。駐車場が課題。

公民館分館

地区外の利用も含め、利用率が高い。現状維持のための改修が必要。

浅川小学校

校舎の集約化も検討。学校は残すべき。空き教室は児童プラザで活用している。児童センターと連携必要。ボランティア利用も。

西条人権同  
和集会所

利用率が高いが老朽化が進んでいるため、改修が必要。

スパイラル

子どもの野外教室に活用

#### 《効果》

- ・浅川の活性化
- ・地区外からくる人が増える

#### 《課題》

- ・現状、新しい人が入って来なくなっている
- ・地元に残って住んでもらうに、どうすべきか
- ・少子化で子どもがいなくなっている。施設を残さない、どこではない

#### 《自分たちにできること》

- ・北郷体育館の使い方の提案
- ・地域の良いところを見つけて、地区外から来てもらえるようにする

## Bグループ

### コンセプト【交流(婚活)が生まれる浅川にしよう!】

北郷体育館

連携

浅川体育館

北郷体育館をPRして活用する

総合的な集約化を検討

浅川公民館

浅川支所

分団詰所

浅川小学校

小学校の老朽化対策になる。住民同士の交流が活発になる。駐車場が不足するため、現在の児童センターを駐車場にして、歩道橋を整備する。



スパイラル

施設にばかり注目が集まるが、広大な土地の有効活用が重要。里山整備の拠点施設として活用したい。コースだけでなく建物も活用できる

#### 《効果》

- ・住民同士の交流の場が生まれる
- ・婚活の場になれば良い
- ・施設の複合化により運営費が削減できる

#### 《課題》

- ・施設複合化の費用
- ・交通手段(山間地と平坦地の交通確保)

#### 《自分たちにできること》

- ・施設のPRのアイデアを出す
- ・マレットゴルフ場の草刈りボランティア
- ・スパイラルで山菜取り講習の講師

既存施設でできることの可能性を探る。  
浅川地区の周辺地区の公共施設活用も考える

## Cグループ

### コンセプト【若者が住みつきたくなる浅川地区を目指す】

北郷体育館

浅川公民館で開催している会議を、北郷体育館で開催して利用する

公民館分館

児童センターは小学校の空き教室へ機能移転。公民館分館と合わせた宿泊・交流施設にする。

児童センター

浅川小学校

西条人権同  
和集会所

西条(地域)公民館と統合する。



#### 《効果》

- ・小学校空き教室の活用。子どもが集まり、活気が生まれる
- ・物置のような公民館分館の有効活用。人的交流
- ・北郷のための場所を残せる

#### 《課題》

- ・児童センター子育て環境の整備。宿泊施設を作っても利用を増やす工夫が必要
- ・施設整備にかかる費用
- ・これからも利用者が減り続けると存続は難しい

#### 《自分たちにできること》

- ・均等な施設利用に配慮する

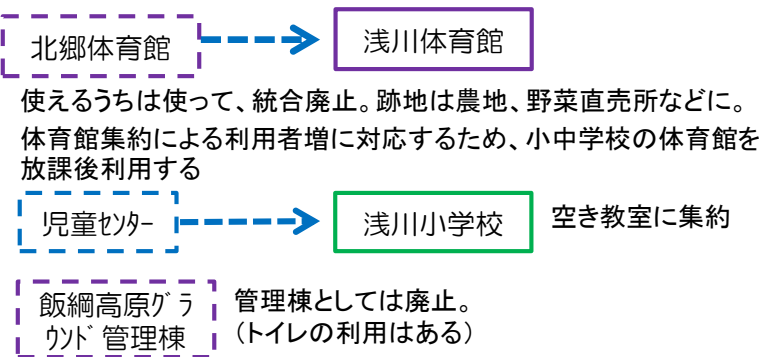
# Dグループ コンセプト【いらぬ施設はない！ 施設の用途を広げて有効活用】

- 北郷体育館** 体育館の用途に限定せず活用する。農業体験、農村留学・歴史文化の学び、数年に一度地区運動会を開催する。防災拠点として維持する必要がある。
- 北部中学校** 部活のスペースが足りない(テニスなど)
- 浅川小学校** 空き教室の活用。料理教室等で活用できる。少子高齢化が進むなか、小中学生と高齢者の交流の機会をつくる。安易な集約はしない。
- 浅川児童センター** レクリエーションなど、健康づくりのために活用できる。
- 飯綱高原グラウンド管理棟** 芝生をはるなど、グラウンドの整備をしなければ活用は難しい。グラウンドを整備せずに管理棟を廃止するのは努力が足りない。

- 《効果》
- 北郷体育館を中心とした交流を通して、山間地の活性化
  - 防災拠点の維持
  - 小中学校で世代間交流
- 《課題》
- 交流の受け入れ態勢づくり
  - 公民館など、利用規制の緩和
- 《自分たちにできること》
- 公共施設の近くにベンチを設置し、町の縁側のような、人が交流できるようにする

(利用者が少ない施設は)障害者とその保護者に使ってもらうことも考えられる

# Eグループ コンセプト【平坦地と中山間地の共生】

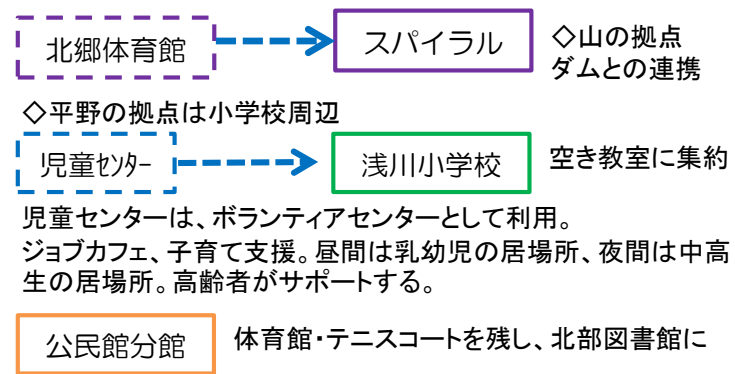


- 《効果》
- 児童センターの集約で、子どもたちの利用しやすい施設に。小学校の空き教室も活用
  - 北郷体育館の集約で、人が集まる。浅川体育館、学校体育館の利活用。
- 《課題》
- 北郷体育館の跡地利用
  - 山間地と平坦地の交通手段の確保
  - 施設利用有料化などの検討が必要ではないか

- 《自分たちにできること》
- 公共施設を積極的に利用して、地域の交流を図る

中山間地エリアは、山の魅力を活かす。トレッキングコース、マレットゴルフ、広場・農地など

# Fグループ コンセプト【浅川笠地蔵ビジョン 山と平野を循環型でつなぐ】



- 《効果》
- 人と人、地域と地域、世代間のつながり
  - 稼ぐ(観光・ダムを活用)
  - 地域活性化、一人暮らしの高齢者対策
- 《課題》
- 駐車場の確保
  - 循環

- 山で農産物を集めて平野に運び野菜を販売
- 平野で必要なモノを買って山へ行く(買い物代行)
- 野菜が売れて一人暮らしの安否確認もできる

- 《自分たちにできること》
- 人づくり。リーダーが大切(手伝いはするけれど…)
  - ボランティア





## 参加者アンケートの主な意見をご紹介します

- ◆議論した内容が、今後もどのように生かされるのか関心を持って見て行きたい
- ◆地区内の公共施設について、少しだが知ることができて、楽しいワークショップだった。普段接することのない方との交流もできて良かった
- ◆具体的に施設の要・不要を考える必要がある。時間が少し足りない。幅広くアンケートが必要ではないか
- ◆テーマが大きすぎて、自分の中で意見がまとまりづらかった。参加者に30代~40代の人をもう少し入れるべき
- ◆大変貴重なワークショップに参加させていただいた。とても自分たちの生活に密接に関わることだと思う。それにしても回数が少なかった
- ◆存続することが大切、利用の拡大を図る。いらぬ施設はない。ワークショップについては行政の一方的な押し付けではないという考え方は理解できる
- ◆1回目と2回目の間隔が長すぎた。前回の思いが消えないうちに早く開催して欲しかった
- ◆公共施設を運営し、維持していくことが本当に大変だということが改めて分かった
- ◆公共施設の将来を考える機会もなく、日々楽しく、地域交流で利用させていただいていたが、浅川を思う気持ちがより深まり、皆さんとの大切な場所として活用したいと思う
- ◆特別な意識なく施設を利用しているが、統廃合、有効利用を考えて行きたい
- ◆地区内の公共施設について、施設ごとに真剣に向き合うようになった
- ◆人口減少と公共施設の問題を身近に考えられるようになった



### 【寺内先生からのアドバイス】

お金が無い、人がいない、高齢化が進むということは共通の知識としてあるなかで、でも何ができるか発想の転換が必要。皆さんが賛同しやすいことから始まっていくが、異なる意見、対立する意見、思惑が違ふ中で、どうやって議論を深めて行けるかが最大の課題だと思う。

人が減って高齢化が進む山間地域は、一方では大きな魅力を持っている、そういった地域へのまなざしを、これからも持続して欲しい。2回でも充実した濃い議論であったと思う。

### 【住民自治協議会 小林会長のあいさつ】

今回ワークショップメンバーは住自協から指名させていただいた。ご協力に感謝申し上げます。グループからの発表で、施設のPRが大事であること、山間地と平坦地の循環、共存を考えるという意見があった。我々住民にできることは限られるが、行政が明確なビジョンを示し、それを基に、行政と地元がしっかり検討して施設の在り方を考えるように進めていきたい。

### 【樋口副市長から御礼のあいさつ】

ワークショップに参加いただき、関係各位に心より御礼申し上げます。またスパイラルの運営にご協力をいただいたことにも改めて感謝申し上げます。

世代間交流や有効利用などのキーワードが出されていた。時代背景のなかで、まちづくり、暮らしづくりについて、皆さんの中で話し合っていく、その延長線上に公共施設があると思う。今までは、施設が出来てからどうやって使っていくかを考えていた。発想が逆であった。

どのように街を作っていくか、どう暮らしていくかをまず話し合っ、施設について考えて行きたい。今回はそのキックオフのワークショップである。引き続きのご協力をお願いします。